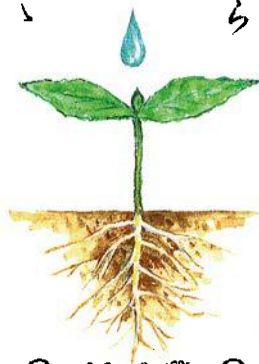


漢方 婦人科 産科
 浮田医院
 だより



第 16 号
 発行所：産科 婦人科 漢方
 浮田医院
 〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
 TEL 0740-32-3751
 FAX 0740-32-3795
 http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/
 発行日：平成11年10月5日(火)
 発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ (16)
 お けつ
 瘀血(循環障害)Ⅳ



気持ちのよい季節になりました。サイクリング、ドライブ、ハイキング、読書、スポーツなど何をして、能率の上がるこの頃です。このような季節ですから、今まで溜まった「瘀血」を一掃するのに持ってこいではありませんか？
 今月は、「瘀血を治す生薬」を取り上げてみたいと思います。第1は、動脈系の血管拡張を促進する作用のある「芍薬、川芎、丹参、蘇木、鶏血藤」、第2は、静脈系の瘀血を改善する「桃仁、牡丹皮、红花、没薬、牛膝、乳香、延胡索」、第3は、瘀血除去と血腫分解吸収の働きのある「穿山甲、三棱、莪朮、虻虫、水蛭」、第4は、止血作用のある「三七、蒲黄、阿膠、艾葉、乱髮霜」です。その他、補血作用のある「当帰、地黄」も「瘀血」を改善します。
 子宮筋腫の治療薬の「桂枝茯苓丸合四物湯加三稜、莪朮、サフロ」の生薬構成を考えて見ましょ

う。桂枝茯苓丸は「桂枝、茯苓、芍薬、牡丹皮、桃仁」、四物湯は「当帰、芍薬、川芎、地黄」です。から、「瘀血を治す生薬」で構成されていることがお分りでしょう。では、実例をお示しします。
 37歳女性、「下腹痛」「便秘症」「出血」を訴えて来院されました。



新旭町サイクリングロード

顔は青黒く、体格中程度で、右下腹部に抵抗と圧痛を認めました。脈は緊、遅。舌は淡紅色、乾薄黄苔。「排卵期出血」として、大黃牡丹皮湯加蒼朮、薏苡仁、甘草を処方しました。下腹痛は、その日の内に消失し、便通も出血も翌日には改善しました。

22歳女性、「月経痛」で、来院されました。顔は薄黒く、肌荒れが目立ち、眼の周囲には、黒い色素沈着がありました。お腹はカサカサし、弾力性に欠けていました。が、両側腹直筋は緊張し、その他の部分も緊張感が強く、どこを押さえても、体を強ばらせておられました。脈は速く、ピンと張った感じでした。舌は紫暗色、周辺に黒い色素沈着が見られ、舌苔はなく、舌下静脈は中程度怒張しておりました。全体の雰囲気は暗く、生活に不満を随分持っておられ、ブツブツいつも文句を言っているように見受けられました。そこで、血府逐瘀湯+サフロンを処方しました。一ヶ月後になると、鎮痛剤を飲めば、どうか過ごせるようになり、4ヶ月後には、鎮痛剤なしでもよくなりました。
 26歳女性、「アトピー性皮膚炎」を訴えて、2年前に来院されまし





た。最初、顔、胸、背中、手足全てジクジクして、赤く、体中の痒みを訴えていました。まず、白虎加人参湯を6ヶ月、次に、温清飲加荆芥、連翹、薏苡仁を1年続け、ジクジクと痒みは改善しましたが、顔の黒み、皮膚のカサカサ、舌の青黒さが残りました。お腹はカサカサ、両側腹直筋は緊張、臍の両側に抵抗圧痛を認めましたので、桂枝茯苓丸加連翹、荆芥、薏苡仁、地黄を処方しました。カサカサは次第に改善し、皮膚に柔らか味が出てきましたので、もう2〜3年もすれば、皮膚の色やカサカサ感も改善して、普通の皮膚になりそうです。

60歳女性、「肩凝り」を訴えて来院されました。かなり肥満傾向で、健診では、高コレステロール血症、高脂血症、高血圧症を指摘されました。顔は血色よく、体格も立派で、お腹にも力がみなぎり、心下部、臍の両側に抵抗と圧痛を認めました。脈は力強く、浮き、舌は紅、乾薄黄苔、舌下静脈怒脹が見られました。そこで、葛根湯十桂枝茯苓丸十サフランを処方し、肩と首と背中に円皮針をしました。1週間後、肩凝りはほとんどなくなっていました。お腹の所見が

変わっていませんでしたので、同じ漢方薬を処方しました。1ヶ月後、肩凝りの治療から、生活習慣病の治療に移りました。

65歳男性、「前立腺肥大」を訴えて来院されました。肥満体、健診で、高脂血症、高血圧症を指摘され、顔は赤褐色、お腹は太鼓の如く膨満、臍の両側と左下腹部に抵抗と圧痛を認めました。脈は太く緊張し、舌は紫紅色、乾黄苔、舌下静脈は太く怒脹していました。そこで、桃核承気湯十猪苓湯十八味丸を処方したところ、1ヶ月後より、排尿時間が短くなり、尿も太くなってきました。この方は、前立腺肥大第2期でしたので、完治までには、まだ時間がかかりそうです。

「瘀血」は、慢性病（高血圧、動脈硬化、喘息、肝硬変、子宮筋腫、腎炎、前立腺肥大、糖尿病、神経症、更年期障害・・・等）、腫瘍、癒着、再発性疾患（中耳炎、鼻炎、リウマチ、腰痛・・・等）の原因です。なくすよう努力していこうではありませんか！



〔院長〕



アトピー性皮膚炎

漢方薬を選択する時、次の3方面からアプローチします。第1は、湿疹や滲出液など“皮膚の症状”第2は、胃腸の機能や精神状態など“体全体の症状”、第3は、“体質や素因”です。まず初めに、私は、痒み、赤み、ジクジク感、痛みなどの症状を軽くし、次に、硬くなった皮膚、カサカサした皮膚を柔らかい皮膚に戻し、健康な皮膚を蘇らせる努力をしています。治療は、3ヶ月（乳児）～2年前後（成人）を必要としています。また、症状に応じて、保湿クリーム、抗真菌軟膏、抗生物質軟膏、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗ヒスタミン軟膏などを使用しています。

“アトピー”でお悩みの方、ご相談ください。



便秘

便の形、硬さ、排便時の腹痛の有無などがとても参考になります。また、お腹を押さえた感じ、舌の状態、脈の状態も考えて処方しています。Aさんに効いた漢方薬でも、Bさんには効かないかも知れません。下剤とは違って、便秘だけでなく、肌荒れ、高血圧、頭痛、のぼせ、生理痛、浮腫、肥満なども一緒に改善してくれることもよくあります。“便秘”でお悩みの方、ご相談ください。



当院の漢方治療



劑型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部“錠剤”）。携帯に便利です。
- ・漢方煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。良質の生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。

漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹接触性皮膚炎、にきび、带状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・等

エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す痛みはありません。
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・・・・・・

入院食

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、生薬も利用します。

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種軟膏（痒み止め、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗生物質、抗真菌剤、保湿剤・・・）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、吸入薬（喘息）、口腔内用（口内炎用貼付剤、口内炎用軟膏、抗真菌剤、含嗽剤）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔用（軟膏、座薬）など処方できます。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
アトピーの方の【漢方薬草剤】もお作りします。

低容量ピル

従来ピルよりも副作用が減っていますが、正確な知識を持って頂くために、問診表を作成しています。内容をご確認の上、サインして下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針の場合【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】をお書き下さい。

検査結果の問合せ

【指定の時間】をお守り下さい。お約束時間以外のお電話には、お答えいたしません。
（ご本人かどうかの確認ができません）

骨量測定

極少量のX線吸収を利用し(DEXA)、1分で測定できます。結果の用紙は、直ぐにお渡しします。骨量の心配な方、【いつでも】お申し出下さい。

駐車場

- ・北-駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東-南駐車場(11台)（終日駐車可能）

レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕 方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診察（月～土） 午前9:00～正午 午後の診察（月・水・金） 午後5:30～午後7:30

- 一般外来：産科〔妊婦検診・妊娠中の方の不調〕
婦人科〔癌検診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕
漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕
- 漢方外来：漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕
〔内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科〕
- 更年期外来：更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕
- 不妊外来：赤ちゃんの欲しい方〔ご主人とご一緒にどうぞ〕
- 妊婦外来：妊婦検診・妊娠中の方〔（火）午前11:00～正午は産後1ヶ月検診（母子）〕

前期と中期－母親教室

日時：10月12日（火）、12月7日（火）、2月15日（火）
対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）
場所：当院1階

お気軽にご参加下さい。ご主人もご一緒に参加されませんか？
申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

後期－母親教室

日時：10月19日、11月2日、30日、12月14日、1月11日（火）
対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）
場所：当院1階

皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。
ティータイム、ご期待ください。

母親教室と産後の集いティータイム

今月は「クロワッサン」と「モンブラン・オ・マロン」です。
「クロワッサンとカフェ・オ・レ」がフランスの方の朝食というイメージが強いようですが、実際には、高級パンのクロワッサンは、たまにしか食べません。それだけに、フランス人はクロワッサンの朝を楽しみにしています。三日月パンの形になったのは、1683年、オーストリア市民が、首都ウィーンを包囲したトルコ軍を破った時、その記念に、トルコ国旗についている三日月形の紋章をパンにしたのが、最初とされています。
「モンブラン・オ・マロン」は、ヨーロッパアルプスの最高峰、モンブランを形どった栗のケーキです。秋の香をお楽しみください。



胎 盤 機 能 検 査

胎盤予備能が分かります。赤ちゃんの発育が悪い場合、妊娠32週頃から調べることもありますが、普通、予定日前後に検査します。検査は、血液と尿（1日溜める）で実施します。もし、低値の時は、NST（せゝらぎ13号参照）などの検査も必要になってきます。胎盤予備能がかなり低下していると診断されれば、帝王切開になることもあります。胎盤予備能を知って頂くことによって、安心してお産に望んでいただけるものと思います。
（尿検査はE₃、血液検査はHPLと言います）



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付でご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、【受付】にお申し出下さい。

従業員募集

看護婦、助産婦、看護補助（当直、病棟補助）の方で、勤務できる方、ご連絡下さい。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

赤ちゃん健診（1と2と3カ月）

1カ月健診、2カ月健診、3ヶ月健診をしています。
日時：毎週火曜日、午前11時～正午（有料）

産後の集い

【赤ちゃんと一緒に】相談にお越し下さい。
【手作りケーキとお菓子】もご用意しています。
日時：10月26日、11月16日（火） 午前11:00～午後12:30
申込：申込ノートにご予約下さい 定員：5名（無料）

大切な知識

早産マーカー：12号、NST：13号、子宮頸管細菌培養：14号、赤ちゃんの予想体重：15号